

## お客様本位の業務運営に関する取組状況

2021年8月11日

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

当社は、2017年11月に制定した「お客様本位の業務運営に関する取組方針」および「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」に基づき、お客様本位の業務運営に向けた取組みを推進しております。

2020年度における取組みについて、次のとおりご報告させていただきます。

### 1. お客様の最善の利益の追求

- ・当社は、2019年度からスタートした中期経営計画（2019～2021年度）において、お客様に一番信頼される運用会社を目指すことを掲げ、お客様本位の業務運営を徹底し、お客様の多様な運用ニーズに対し、常に最適なソリューションを提供できるよう、運用会社としての課題解決能力の向上に努めております。また、お客様へのサービス向上の基盤となる内部態勢の整備も併せて実施しております。
- ・投資先企業との建設的な「目的を持った対話」の強化を目指し、企業との個別ミーティングの実施等、積極的にエンゲージ活動を実施するとともに、適切な議決権行使を通じて投資先企業の価値向上に努めています。なお、議決権行使の結果については、当社ホームページにおいて、四半期ごとの個別開示を実施しております。

#### <企業対話数>

2018年度	2019年度	2020年度
104社 226回	96社 191回	115社 221回

- ・運用手法等に関する調査・研究を継続的に実施しており、運用ノウハウの改善および向上に資するため、運用対象・手法に関する情報収集に努めるとともに、当該情報について運用部門内で常に共有される体制を敷いております。
- ・商品品質の維持・向上のため、運用部門から独立したリスク管理部門である経営管理部が、日次・月次で運用内容をモニタリングし、モニタリング結果を月次でコンプライアンス・運用管理委員会に報告しております。  
また、パフォーマンス評価については、月次で投資政策委員会に報告しております。

※コンプライアンス・運用管理委員会

当社のコンプライアンス、信託財産の運用リスクおよび事務リスクの管理に関する重要事項の決定機関

※投資政策委員会

当社の運用業務に係る基本的な事項である運用方針、運用戦略および商品開発に関する重要事項の決定機関

- ・お客様にとって最良の条件で取引を執行するため、ブローカーの選定および評価について、発注・引合目標値に基づき管理しております。
- ・適切かつ効率的に議決権を行使し、お客様の利益を図るため、取締役会に係る独立性基準の厳格化、政策保有株式に係る基準の追加、業績等に係る基準の変更など、議決権行使におけるスクリーニング基準の一部見直しを実施しております。

## 2. 利益相反の適切な管理

- ・お客様と当社等の利益相反を適切に管理するため、利益相反のおそれのある取引の類型および当該取引の特定のプロセス等を含む「利益相反管理規程」を制定し、その概要を「利益相反管理方針」としてホームページに公表しており、当該方針に沿って適切に管理しております。また、利益相反管理に係る知識水準を維持、向上させるため、全役職員に対し研修を実施しております。

## 3. 手数料の明確化

- ・交付目論見書において、お客様が直接的および間接的に負担する費用を開示するとともに、請求目論見書にも手数料等および税金を明確に記載し、各々の目論見書を当社ホームページに掲載しております。販売用資料についても、交付目論見書と同様に記載しております。また、運用報告書において、経費率に係る表および円グラフを記載するなど、経費率を開示しております。

## 4. 重要な情報の分かりやすい提供

- ・お客様にとって分かりやすい資料による情報提供を行うため、ホームページに掲載したすべての投資レポートについて、内容に係る図表を使用して作成しております。また、お客様にとって見やすい資料による情報提供を行うため、交付目論見書にユニバーサルデザインを導入しております。

※ユニバーサルデザイン

文字の大きさや配置、色合いなどを調整し、従来より見やすく、わかりやすくしたデザイン

- ・お客様の投資判断に役立つ情報を提供するため、お客様を対象にした資産運用セミナーに講師を派遣するとともに、販売会社の投信窓販担当者を対象とした勉強会のため

に、資料の作成および講師の派遣を実施しております。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナーおよび勉強会の開催回数は減少しましたが、デジタルツールを活用したリモートによる開催や動画を利用した情報提供等の取組みを進めております。

<講師派遣回数>

	2018年度	2019年度	2020年度
お客様向け資産運用セミナー	144回	133回	21回
投信窓販担当者向け勉強会	224回	248回	174回

- ・国内外市場の動向や政治・経済情勢に加え、海外取材により収集した現地情報などのタイムリーな情報をお客様にお届けするため、「投資環境」（当社ストラテジストが執筆するマーケット動向や投資戦略等についてのレポート）、「トピックス」（当社エコノミストが執筆する内外経済動向、金融政策および政治動向についてのレポート）を発信しております。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外での取材を控えましたが、過去の現地取材で得た情報を活用しながら、米欧やアジアなどを中心に世界各国のレポートを提供しております。

<発信回数>

	2018年度	2019年度	2020年度
投資環境	49回	31回	37回
トピックス	45回	46回	51回

5. お客様に最適な商品・サービスの提供

- ・商品ラインアップの拡充の一環として、2020年度は、米国の代表的な株価指数であるS&P500指数に連動を目指す上場投資信託（ETF）に投資する追加型公募投信や、米国債券、米国株式、金などを投資対象とし、投資比率の調整により基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制する追加型公募投信の組成に向けた取組みを進め、それぞれ2021年4月、2021年6月に設定しております。

- ・販売会社である信用金庫への訪問活動等を通じて、お客様の運用ニーズの把握に努めております。

6. お客様本位の業務運営を徹底するための枠組みの整備

- ・お客様本位の業務運営に関する取組状況の検証をテーマとした内部監査を実施し、お客様本位の業務運営の徹底に努めています。

- ・当社が制定した「お客様本位の業務運営に関する取組方針」および「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」について、全役職員に対し研修を実施しており、お客様本位の徹底を図っております。